

授業科目	* 公衆栄養学実習 (B クラス)				単位	1		
履 修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT22107J		
開講年次	3 年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP5-1			
担当教員	田路 千尋							
授業概要	公衆栄養活動を実践するにあたり、地域社会の健康・栄養問題あるいはニーズ等を、確かな情報収集・分析により実態把握し、適切な課題分析・地域診断に基づく公衆栄養プログラムの作成・実施、さらにはそれらを含めた総合的な評価・判定を行うことのできる専門的な知識や技術を修得する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 適切なニーズアセスメントを選択・実施し、プリシード・プロシードモデルに基づいた評価判定ができる。 対象集団や地域の特徴を把握し、適切な社会資源を活用した公衆栄養プログラムを作成することができる。 健康的な食環境づくりを提案することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	10	55	30	5	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		10	37		4		51	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				15			15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			18		1		19	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				15		0	15	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)							0	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1)プリシード・プロシードモデルに基づいた評価判定を行い、抽出した課題から、適切な社会資源を活用したカリキュラムおよび適切な授業案を作成することができる。 2)健康的な食環境づくりを提案することができる。				1)プリシード・プロシードモデルに基づいた評価判定を行い、抽出した課題の解決策を検討することができる。 2)適切な授業案を作成し、対象に適した媒体を選択し、授業を実施することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:社会調査法の理解1 質問紙法を用いたニーズアセスメント方法を修得し、調査を行う	演習 グループワーク	課題:食生活アンケート調査用紙の設計	60
2	テーマ:食事調査の実施 秤量法・食物摂取頻度調査法の実習により、栄養摂取状況の把握を行う	実習	課題:1日分の食事調査(秤量記録法)を実施し、重量をすべて記入しておく。	60
3	テーマ:ニーズアセスメント 質問紙調査の結果を分析する	実習	課題1)先週実施の食事調査記録の栄養価計算を行う。 2)班で取り上げた健康課題の要因をアンケート結果から、統計学的手法(カイニ乗検定、t検定)を用い分析する。	180
4	テーマ:ニーズアセスメント(個人と集団の違い) 食事摂取基準にも基づく栄養アセスメントを個人および集団について行う	演習	課題)前回の課題1)と2)をプリシード・プロシードモデルに沿い、アセスメントを行い、要因間の関連性について分析する。	180
5	テーマ:栄養診断と評価 プリシードモデルに基づいた問題の因子分析を実施する。	発表	アンケート分析結果についてまとめる	120
6	テーマ:公衆栄養プログラム計画1 立案したプログラムに沿ったカリキュラムおよび授業案を立案する	教員による授業 デモンストレーション 実習	課題:抽出した課題を解決するために、実施すべき健康教育のプログラム案を作成する。	120
7	テーマ:公衆栄養プログラム計画2 抽出課題の解決に向けて、公衆栄養プログラムの立案を行う	グループワーク	課題:授業案を再検討する。	120
8	テーマ:公衆栄養プログラム実施1 授業案の実施に向けて、社会資源の活用及び資料を作成する	グループワーク	課題:班で実施する授業案の媒体(リーフレット等)を作成する。	60
9	テーマ:公衆栄養プログラム実施2 計画した授業案に必要な媒体を作成する	グループワーク	課題:班で実施する授業案の媒体(リーフレット等)を作成する。	60
10	テーマ:健康・栄養教室の運営1 ロールプレイングにより、授業案の実施を行う (9班中1~3班が実施)	ロールプレイング 実習	課題:班で実施する授業案の媒体(リーフレット等)を作成する。	60
11	テーマ:健康・栄養教室の運営2 ロールプレイングにより、授業案の実施を行う (9班中4~6班が実施)	ロールプレイング 実習	課題:班で実施する授業案の媒体(リーフレット等)を作成する。	60
12	テーマ:健康・栄養教室の運営3 ロールプレイングにより、授業案の実施を行う (9班中7~9班が実施)	ロールプレイング 実習	課題:班で実施した授業のプロセス評価結果について分析しまとめる。	60
13	テーマ:健康的な食環境づくり ヘルスプロモーションの理念に基づいた食環境整備について立案する	グループワーク	課題:班で設定した食環境整備の具体的プログラムを立案する	120
14	テーマ:プロセス評価・影響評価 プロシードモデルに基づいて、実施プログラムの評価を行う	発表	課題:班で実施した授業のプロセス評価結果について分析し、結果を改善案に反映する	60
15	テーマ:まとめ 実習した内容から重点事項を解説する	演習 小テスト	予習:各種統計資料の活用、食事調査法、食事摂取基準の活用、公衆栄養プログラムにおけるPDCA	120
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>本実習は、PDCA サイクルに基づき、実際に公衆栄養プログラムを学内で運営します。課題抽出で統計分析を行うため、2年次の「健康情報処理論」「栄養疫学」「健康情報処理実習」で得た知識と技術が必要です。</p> <p>また、厚生労働省や総務省などが発表している統計資料、特定保健指導等で使用されている有用な媒体等、すでに使用されている社会資源を上手に活用する必要があるため、正確な情報収集能力が必要です。</p>			
テキスト	<p>「公衆栄養学」(南江堂) 「管理栄養士・栄養士必携」(第一出版) 「日本人の食事摂取基準」(第一出版) ※テキストは、授業外学習(予習・復習)にも活用する。 ★食事調査に必要なので、各自準備しておくこと: デジタル秤, 計量スプーン, 計量カップ</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会) 「国民健康・栄養の現状」(第一出版) 「管理栄養士・技術ガイド」(文光堂) 「厚生労働白書」(厚生労働省 編)</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>公衆栄養学実習は栄養士・管理栄養士になるための基礎的な科目です。「公衆栄養学 1」「公衆栄養学 2」で学んだ内容を基にしています。これまで学んだ情報処理・栄養疫学も関連します。パソコンを使ったデータ処理に慣れておきましょう。自身の食事を秤量、栄養価算定するなど、食事摂取量の概算にも慣れておきましょう。</p>			
達成度評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークにより他者との連携・協同の精神を身に付けることも重要であるため、遅刻は減点する。 ・実習時間中の班での発表については、観察者(クラスメイト)の評価も参考にします。 ・個人評価については、個人課題・最終レポートの質的レベルで評価します(締切厳守)。 ・班の課題・発表、個人課題の不十分な点を補てんするために最終授業で小テストを行います。 			